様式３（2020.08改）

作成日　令和　２年　１０月　３１日

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2371401437
事業所名	グループホーム名古屋滝ノ水の家

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：２）	評価
	地区清掃や防災訓練、地域の展示会等への協力は日常に溶け込み、自治会の総会への出席では「手伝えることがあれば何でも…」と表明した昨年の取組みを経て、本年は「事業所のごみを出す場所を地域住民と同じところでかまわない」との緩和措置が自治会で決定、また介護の相談事が地域から入る等、ここ数年管理者が隣近所のつきあいをコツコツ尽力してきたことが花開いています。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：３）	評価
	コロナ禍の影響ではなく、昨年来から運営推進会議が隔月開催できず（年6回開催は順守している）、6月・7月・8月で連続開催となっています。法人内の他事業所との合同開催の形をとりつつも、外部者を招くことは休止とし、書面開催並びに「運営推進会議開催結果報告書」の作成に至っています。また、作成の書面についてはメンバー（いきいき支援センター）からコメントも得ています。	○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：４）	評価
	区役所の福祉課、生活保護課には月に一回訪問するほか、いきいき支援センターとは親しく行き来があり、主催講演会の講師を管理者が務めています。「名古屋介護ネット」は日々こまめに確認しており、またコロナ対策については「緑区介護事業所連絡会」からも情報入手して、運営に反映させています。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：６）	評価
	面会は、「週1、2回」という家族もいますが、大半は「月1、2回」で、3分の1ほど「週1回」という具合で、家族の出入りは多くありましたが、コロナ禍でままならず、事業所では電話を増やしています。毎月発信するお手紙はリーダーが下書きしたものを管理者がパソコンで体裁を整え送付しています。また利用者の要望は日々聞き取り、同性介助や総菜の味付けなどに応える態勢にあります。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

【備考欄】

１．外部評価軽減要件

①　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」及び「２　目標達成計画」を市町村に提出していること。

②　運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されていること。

③　運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。

④　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の２、３、４、６の実践状況（外部評価）が適切であること。

２．外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
２．事業所と地域のつきあい	（例示） ①　自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、 消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ②　地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
３．運営推進会議を活かした取り組み	（例示） ①　運営基準第８５条の規定どおりに運用されている。 ②　運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
４．市町村との連携	（例示） ①　運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ②　市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
６．運営に関する利用者、家族等意見の反映	（例示） ①　家族会を定期的（年２回以上）に開催している。 ②　利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③　家族向けのホーム便り等が定期的（年２回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R元年度
総合評価	×	○	○	○	○	○	◎	○	◎	○	◎
実施年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
総合評価	○										